

## 気候情報

### 2014年1月の日本の天候

- 全国的に中旬は低温、下旬は高温
- 東日本以西で日照時間がかかなり多く、沖縄・奄美で降水量がかかなり少なかった
- 降雪量は北日本と山陰の一部を除き平年並か少ないところが多かった

#### 1月の天気概況

上旬は、冬型の気圧配置が数日の周期で強まった。北日本日本海側では気圧の谷の影響を受けやすく曇りや雪の日が多かった。また、沖縄・奄美では高気圧に覆われて晴れた日があった。中旬は、冬型の気圧配置が強まり、全国的に寒気の影響が大きく気温は平年を下回った。日本海側では北日本を中心に所々で大雪となる日があった一方、太平洋側では晴れた日が多かった。下旬は、冬型の気圧配置は弱く、南からの暖かい空気が流れ込み気温が平年を大きく上回る日があるなど、全国的に気温が平年を上回った日が多かった。また、東日本から沖縄・奄美にかけては移動性高気圧に覆われて晴れた日があった。

北日本日本海側では、気圧の谷や冬型の気圧配置の影響を受けやすかったことから月降水量はかかなり多く、月間日照時間が少なかった。一方、東・西日本と沖縄・奄美では、太平洋側では中旬に冬型の気圧配置が強まり晴れた日が多かったこと、下旬は日本海側も含め移動性高気圧に覆われる日があったことから月間日照時間がかかなり多くなった。特に、西日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美では月間日照時間が平年の136%、127%、175%となり、1月としては統計を開始した1946年以降最も多い値を更新、また沖縄・奄美では月降水量が平年の35%となり1月としては1946年以降では最も少ない値を更新した。

アメダスも含めた降雪量は、北日本の一部や山陰の一部で多かったほかは平年並か少ないところが多かった。

**上旬：**北日本から西日本にかけては、数日の周期で気圧の谷が通過し、その後は冬型の気圧配置となる日が多かった。8日から9日にかけての気圧の谷の通過時には、太平洋側でも広い範囲で雨や雪となった。沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れる日もあった。

**中旬：**北日本を中心に冬型の気圧配置が強くなり、全国的に寒気が流れ込んだ。北日本から西日本にかけての日本海側では、曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。旬を通じて気温は全国的に平年を下回る日が多かった。

**下旬：**旬のはじめは冬型の気圧配置となり、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪、太平洋

側では晴れて、気温は全国的に平年を下回った。その後は、期間の中頃と終わりに気圧の谷が通り、南から暖かい空気が流れ込んで、全国的に気温が平年を大幅に上回った。そのほかの日は、東・西日本と沖縄・奄美では移動性高気圧に覆われた日が多かった。沖縄・奄美では、日照時間が平年の247%となって統計を開始した1961年以降最も多い値を更新した。

#### 1月の気候統計

**月平均気温：**西日本で高かった。北・東日本、沖縄・奄美は平年並だった。

**月降水量：**沖縄・奄美ではかかなり少なく、北日本太平洋側、東日本日本海側で少なかった。一方、北日本日本海側ではかかなり多かった。東日本太平洋側、西日本は平年並だった。

**月間日照時間：**東・西日本、沖縄・奄美ではかかなり多く、北日本太平洋側では多かった。一方、北日本日本海側では少なかった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 1月の記録（1位更新のみ）

##### ・月降水量の少ない方から（mm）

沖永良部 17.5 与那国島 17.0 西表島 35.0

##### ・月間日照時間の多い方から（時間）

若松 113.3 富山 97.3 宿毛 212.7

平戸 150.1 など24地点

#### 2014年1月の平年差（比）図

